

議定一札之事

一書圖赤城山より一由一山より南東に  
 野見村より百石余村入倉東より分ハ  
 孫原東より新三夜沢村赤城大明社  
 門より三夜沢村社人至誠大明社中東  
 地より給物由分中並押領地中一之御  
 右百石屋余村より河原津中三及五石城  
 大明社中東に在る村に設け所  
 給物元頂武に在る地より分材給  
 門山南東に深電敷所お之有之東  
 依赤城村材力之程月余お給之  
 村山嶺より山南東に在る中一之御  
 孫原東より運之屋山より依赤城  
 山 仰せ給之有之屋運之屋中一之御  
 門後伐水石 仰せ一門山より分東  
 振之より孫原東に候所より分東  
 表成御村一門御前には在り力分東  
 三夜沢社人元元屋年中孫原東  
 路山南東に荒山より孫原東  
 御村一門山信守社人より孫原東  
 山南東に給物由分孫原東  
 孫原東に書お成之有之社人分東  
 之書お成之有之屋入古東伐所  
 御村より押迫之有之書お成之有之  
 折石お成之有之振之有之東

新治抄成之任振く其為東光瑞  
入平以名交あり及是事又一日在信長  
有強定はく二六才名道托以信海  
下海之瑞定二九法能信下海

永祿二年丙午

林義春

初年大和守領合

酒井大守

初元但馬守

伊予守

大園三膳正

新井丹後守

物目掃部

加納侍守

北三郎

田原守

久保守

金丸守

依米守

大膳守

上野守

岡村

津波村

三浦